

---

---

## 情報コーナー

### ★会合やイベント

## 2016年天文教育普及研究会年会のお知らせ（第二報）

寺藺淳也（年会実行委員長・会津大学）

2016年の天文教育普及研究会年会（第30回天文教育研究会）は東北支部が担当し、仙台市で開催します。本研究会としては東日本大震災後初の東北開催となります。夏の仙台といえば、天文ともゆかりの深い仙台七夕まつりが開催されるなど、観光シーズンでもあります。ホテルの確保などお早めの旅行計画をお願いします。

期 日：2016年8月21日（日）～8月23日（火）

会 場：東北大学 理学研究科合同 C棟 2階 青葉サイエンスホール（仙台市青葉区）

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/campusmap/kita-aobayama/>

主 催：天文教育普及研究会

後 援（予定）：宮城県教育委員会、日本天文学会、日本惑星科学会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会

対 象：学校教育機関、社会教育機関、一般の天文普及活動などで天文の教育・普及に携わっている人、あるいは関心のある人、および天文教育普及研究会会員

趣 旨：天文教育の振興および天文教育普及活動の推進

#### 〔会場へのアクセス〕

最寄駅：仙台市営地下鉄東西線 青葉山駅 徒歩1分

・JR仙台駅から仙台市営地下鉄東西線に乗り換えて約10分

・仙台空港からJR仙台駅までは、仙台空港アクセス線で約30分

青葉サイエンスホールは、地下鉄青葉山駅を降り、北1出口を出てすぐ左側にみえるセブンレブンのある大きな建物です。なお、自家用車での来場ですが、一応可能ではありますが、青葉キャンパスは駐車場の数が限られます。事前に主催者にお問い合わせの上で、できましたら公共交通機関でのご来場をおすすめします。

#### 〔メインテーマ〕 天文教育で日本を元気にする～宇宙と親しみ、人とつながる～

今年の天文教育研究会では東日本大震災後初の東北開催ということも考慮し、「天文教育で日本を元気にする～宇宙と親しみ、人とつながる～」をメインテーマとしました。

平成23年（2011年）に発生した東日本大震災では、東北地方を中心とする広範囲で未曾有の被害が発生しました。この震災から5年が経過し、復興支援は、いわゆる「ものの復興」（街や建物、インフラの再建）から、人々の心の復興（震災から立ち直り、自立へと導く支援）へと舵を切り替えることが求められています。震災直後から、特に

甚大な被害を受けた岩手・宮城・福島の各県では、天文教育関係者が、自分たちでできる数多くの震災支援（主に心の支援）を実施してきました。他の様々な「心の復興」の取り組みに比べると、天文・宇宙を利用した心の復興は、以下のような利点があります。

- ・空を見上げるといふ、誰でもが行える活動を中心としているので、活動参加に対しての敷居が非常に低い。特に同じ星空を見ているということで、他の被災者との連帯を感じやすい。
- ・少人数でも大人数でも、また田舎でも街中でも行えるという柔軟性がある。
- ・天文・宇宙を通した「見る側」と「行う側」の双方向性のコミュニケーションにより、コミュニケーションの円滑化、活発化が促進され、引きこもりがちとなる被災者にとって大きな心の支援につながる。

こうした被災地での天文教育支援の活動報告とそこから得た教訓や知見をもとに、そのような活動の主催者側と参加者側の両方の声を聞くことを通して、宇宙とその学びを通した人的ネットワークのありかたとその価値について、本会では議論していきたいと考えています。

本研究会ではまた、このテーマとは直接関連しない天文教育普及に関する一般的な講演や議論も、学校教育・社会教育・一般教育というカテゴリーごとに行うことで、広く日本の天文教育普及に関する情報交換の場となる研究会を目指します。

#### 〔招待講演〕

==全体企画「天文教育で日本を元気にする」==

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 高木浩一（岩手大学）   | 天文分野における被災地・避難先での活動     |
| 柴田晋平（山形大学）   | 大船渡市での天文教育活動 星のソムリエ講座   |
| 笠井香代子（宮城教育大） | 宇宙をテーマにした理科実験教室と気仙沼への展開 |

==学校教育==

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 田中幹人（東北大学）       | 学士課程における PBL 型天文教育の実践 |
| 遊佐 徹（大崎生涯学習センター） |                       |

大崎生涯学習センターにおける学校との連携事業について

==社会教育==

- |             |            |
|-------------|------------|
| 土佐誠（仙台市天文台） | 仙台市天文台での活動 |
|-------------|------------|

==一般教育==

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 高橋真理子（星空工房） | 病院でのプラネタリウム |
|-------------|-------------|

#### 〔参加費(予定)〕

- |        |                        |         |        |
|--------|------------------------|---------|--------|
| 一般(会員) | 2,000円                 | 学 生(会員) | 1,000円 |
| 非会員    | 会員参加費+1,000円(集録代にあてます) |         |        |
| 高校生以下  | 無料                     |         |        |

#### 〔情報交換会(懇親会)〕

会期 2 日目の 8 月 22 日(月)の夜に、青葉サイエンスホール内での開催を予定して

おります。青葉サイエンスホール内にはレストランがあるほか、会場前ロビー全体を広く利用して懇談が可能です。また外に出ることもできます。天気がよければ（街中にはありますが、高台ですので）美しい夏の東北の星空を眺めることも可能かも知れません。なお、懇親会につきましては、別途会場受付時に費用をお支払いいただきます。下の参加申し込みにてあらかじめお申し込みいただけますと助かります（学会会場での申し込みも可能ですが、人数把握の都合上、できるだけ事前のお申し込みをお願いいたします）。

参加費（予定）： 4,000 円（一般）／2,000 円（学生）

### 〔参加申し込み〕

次ページの申込書にご記入の上、メール・FAX・郵送にてお申し込みください。データ整理の都合上、できるだけメールでの参加申込にご協力をお願いします。

参加申込（発表あり）・情報交換会（懇親会）： 7月1日（金）まで

参加申込（発表なし）： 8月5日（金）まで

※会場ではプロジェクター接続が可能です。コンピューターを使用される方はVGAまたはHDMI接続にてご利用いただけます。当日、会場には事務局側でパソコンをご用意いたしますが、特に音声や動画などを含む発表を行う場合には、ご自身のコンピューターをご利用いただくことを強くおすすめいたします。

#### ○ 郵送・メールの場合

申し込みフォームの内容を [nenkai2016@tenkyo.net](mailto:nenkai2016@tenkyo.net) までお送りください

※実行委員宛アドレスとは異なります。ご注意ください。

#### ○ 郵送・FAXの場合

寺藺 淳也 宛

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀 会津大学 企画運営室

FAX: 0242-37-2531

※封書の場合、「学会申し込み在中」と朱書きをしていただくようお願いいたします。

### 〔今後の予定など〕

最終的なご案内につきましては、「天文教育」7月号にてリリースの予定です。なお、学会のホームページは天文教育普及研究会公式 Web (<http://tenkyo.net>) 上に設置されます。また、更新情報は Tenkyo メーリングリストで随時送信するほか、ソーシャルネットワーク（ツイッター、フェイスブックなど）も活用予定です。

### 〔お問い合わせ先〕

ご不明な点は、[2016meeting@tenkyo.net](mailto:2016meeting@tenkyo.net) までメールでお問い合わせください。

以下の実行委員が対応いたします。

実行委員長：寺藺淳也（会津大学）、実行委員：荒木田英禎（日本大学）、安藤享平（郡山市ふれあい科学館）、伊藤芳春（聖和学園高）、亀谷收（国立天文台水沢 VLBI 観測所）、亀谷光（仙台市天文台）、高田淑子（宮城教育大学）、津村耕司（東北大学）、原田敦、嶺重慎（京都大学）

---

---

第 30 回天文教育研究会 参加申込書

(以下、該当する箇所を残して記載して下さい。)

氏 名：  【一般・学生】  【会員・非会員】

ふりがな：

所 属：

1. 連絡先【自宅・所属先】

住 所：

電 話：

FAX：

電子メール：

今後の連絡方法【郵便・メール】

2. 参加日程

・参加予定日【8月21日(日)・8月22日(月)・8月23日(火)】

・情報交換会(8/22夜)【参加・不参加】

3. 研究発表(発表は1人につき、口頭1件、ポスター1件、合計2件まで可能です。)

・口頭発表【あり・なし】

(口頭発表希望者が多数の場合、ポスター発表への変更をお願いする場合があります。)

題 目：

要 旨(100字程度)：

プロジェクター【Mac/Windows PC 持参・USBメモリ持参・使用しない】

その他使用機材：

・ポスター発表【あり・なし】

題 目：

要 旨(100字程度)：

4. 派遣依頼(依頼状は実行委員長名で作成します)【必要・不要】

必要な場合：月日までに宛に

5. 旅費援助・会場アルバイトの希望【あり・なし】

(原則として、他旅費財源が無く、口頭発表を行う若手(大学院生以下)が対象です。)

6. 自家用車での来場希望【あり・なし】

(ご希望に添えない場合もございます。できるだけ公共交通機関でお越しください。)

7. その他、ご意見、ご要望があれば、ご記入ください。

## 支部会のご案内

### ◆中国・四国地区 天文教育研究集会

#### (2015年度 天文教育研究会 中国四国支部研究集会)

期 日：2016年6月11日(土)午後～12日(日)午前

会 場：下関市立大学 本館 (I-201、I-202 教室) (山口県下関市)

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/access-map/index.html>

主 催：天文教育研究会 中国四国支部

後 援：下関市立大学 (予定)

参 加：無料

申 込：発表あり 5月27日(金) 発表なし 6月6日(月)

情報交換会 6月3日(金)

申込先・問合せ：佐々木 実 (下関市立大学)

TEL 083-254-8668 e-mail [sasaki-m@shimonoseki-cu.ac.jp](mailto:sasaki-m@shimonoseki-cu.ac.jp)

(できるだけ e-mail でお願いします。)

日 程：11日(土曜日) 13時開始 (下関市立大学 I-201、I-202 教室)

- (1) 支部長あいさつ、自己紹介・近況報告 (13:00～13:30)
- (2) 研究発表・報告 (13:30～15:45) (多数募集中!)
- (3) 天文教育普及研究会の法人化に関する議論 (16:00～17:00)  
情報提供 (当会の法人化検討のための委員会メンバー)
- (4) 事務協議 (17:00～17:30)

中国四国支部の今後の活動、次期開催地等について

夜 : 情報交換会 (JR 下関駅周辺を予定、4,000円～)

12日(日曜日) 9時頃開始 (下関市立大学 I-201、I-202 教室)

- (1) 講演会 (太陽系外惑星の命名に関する話題で)
  - ・ 福井暁彦 (国立天文台/岡山天体物理観測所)  
(仮題) 太陽系外惑星観測の現状と展望
  - ・ 山根弘也 (呉市かまがり天体観測館)  
(仮題) 太陽系外惑星への命名 ～中国・四国地区からの命名提案～
- (2) 研究発表・報告 (多数募集中!)
- (3) エクスカーション (午後：検討中)

15時頃までに解散

\*1 : エクスカーション見学地のご希望があればお聞かせください。公共交通機関ご利用の方は、世話人の車でご案内します。

会場案内 (詳細は下関市立大学の Web ページ参照)

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/access-map/index.html>

- (1) JR 下関駅 (山陽本線) からサンデンバス 20～25分、「山の田」バス停下車、

徒歩 4 分、または「大学町二丁目」バス停下車、徒歩 2 分

(2) JR 幡生駅 (山陽本線・山陰本線) から徒歩 20 分

(3) JR 新下関駅 (山陽新幹線・山陽本線) からサンデンバス 15 分「大学町二丁目」バス停下車、徒歩 3 分

(4) 自家用車でお越しの方は、事前に大学構内の駐車許可証を申請しておきます。

(5) 会場の I-201、I-202 教室は、正門を入れて正面の本館 I 棟の 2 階です。

宿泊案内

宿泊の予約は各自でお願いします。JR 下関駅近くには、ビジネスホテルが集まっており、情報交換会場にも近く便利です。

その他

公文書形式の開催要項や、派遣依頼文書の必要な方はご連絡下さい。

中国四国地区 天文教育研究集会 参加申込書

(1) 参加申し込み

氏名 (所属名) : ( )

住所 :

電話番号 : e-mail :

天文教育普及研究会の (会員、非会員) ※不要を削除

出席表 (○印)

11日 ( ) 情報交換会 ( ) 12日 ( )

(2) 報告・研究発表の申し込み

発表者氏名 (所属) :

発表題目 :

希望日時 : 必要時間 :

使用機器 (○印)

パソコン ( ) プロジェクタ (パソコン対応) ( )

その他 ( )

(3) 利用交通機関 (○印)

自家用車 ( ) 公共交通機関 ( )

その他 ( )

※自家用車利用の方は事前に大学構内での駐車許可証を申請しておきます。自家用車利用の可能性のある方は自家用車に○印をしてください。(結果的に公共交通機関利用になっても構いません。)

(4) その他 (ご要望など、何でも)

※会員以外の方の参加も歓迎します。

---

---

## 研究会のご案内

### ◆第3回ユニバーサルデザイン天文教育研究会～教材研究ワークショップ～

3回目となりますユニバーサルデザイン天文教育研究会のお知らせをします。現在、教材ワークショップをしてくださる方を先行募集しています。なお、一般講演・ポスター募集については「天文教育」7月号で案内します。

期 日：2016年9月24日（土）～26日（月）

会 場：国立天文台 すばる解析棟大セミナー室（24～25日）

コスモス会館会議室（26日）

主 催：国立天文台

共 催：天文教育普及研究会、IAU 国際普及室

備 考：前2日間は日本語メインのセッション、3日目は国際交流セッション（英語）

#### 〔研究会の目的と趣旨〕

ユニバーサルデザイン（UD）天文教育とは、障害者などマイノリティの（立場にある）方々を意識した（広い意味での）天文教育です。宇宙に興味をもち、宇宙について学ぶことは、世代や性別、国籍、障害の有無を問わず、誰でも等しく享受できるべきものです。しかしながら、そのことは、現在、十分共有できているとはいえません。本研究会は「ユニバーサル」な活動を「共に」進めるための基本的考え方や具体的方策を、当事者（障害者）、天文研究者、教育者、障害者支援の方々による発言と対話を通じて深める目的で開催します。

UD天文教育研究会は、今までに2回、2010年と2013年に合同研究会を国立天文台で開きました。それぞれ120人を超える方々が集まりました。第3回では、単なる講演（聞く・見る）にとどまらず、ワークショップ（参加する、体験する、自らやってみる）を中心に据えます。グループワークショップ（少人数グループに分かれてのワークショップ）を行います。

日本には海外に誇るべき優れた教材があります。しかしながら教材や活動は全国的な共有が不足しているため、活動は個々で完結しているともいえます。「共有」には講演（話す・聞く）だけでなく、実践・体験が不可欠です。そこで本研究会では、グループワークショップを中心に据えました。キーワードは低価格（一人あたりおおむね1,000円以下）です。グループワークショップは単に一過性のもので終わらせず、参加者一人ひとりが研究会終了後、今度は自分が主体となって、自分の周りで実践し、広げていくスキルを磨く経験が肝要です。そのようなリーダーを養成することが、本研究会のゴールです。

今回の研究会 IAU 国際普及室（国立天文台内にオフィスがあります）との共催であり、将来的に、タイやインドネシアなど、近隣のアジア諸国への国際発信も念頭においています。そのため近隣諸国から1人ずつ程度、関心がありそうな方をお呼びする予定です。そのため3日目は外国人ゲストのための国際交流セッションとしました。

## 〔主なプログラム（予定、敬称略）〕

- 1 日目 オープニング／特別講演：近藤武夫（東大）、広瀬浩二郎（民博）、高谷恵美（京大病院小児科ボランティア）／一般講演／グループワークショップ／ポスターセッション
- 2 日目 特別講演：佐藤文衛（東工大）、廣瀬彩奈（坂戸ろう学園）、Lina Canas（国際普及室）／一般講演／グループワークショップ／ポスターセッション
- 3 日目 外国人ゲストのための交流セッション

## 〔ワークショップ概要〕

- ・形式：少人数（15 人程度以下）グループに分かれてのワークショップ
- ・内容：天文・宇宙が題材であることのみが条件で、レベルや方法は問いません。
- ・種類：体験タイプ（教材を元に体験するもの）、工作タイプ（何か自分の手で組み立てるもの）、その他。
- ・日程：9 月 24 日（初日）午後、9 月 25 日（2 日目）午後
- ・所用時間：2 時間（120 分）。実際に手を動かす時間は 60 分程度とし、その後参加者が自由に発言するグループディスカッションの時間を設けます。
- ・回数：2 回（両日）、または初日か 2 日目のどちらか 1 回、どちらでも構いません。
- ・会場：原則として国立天文台すばる解析棟の大セミナー室を分割して行います。  
※静かな環境で行う必要があるワークショップは別室を用意します。

## 〔ワークショップ応募要項〕

興味がおありの方は、以下の内容を含めた企画書をお送りください。締切は 5 月末ですが、企画書が間に合わない場合、まずは応募の意志をご連絡ください。なお、現時点でユニバーサル（障害者対応等）であるか否かは問いません。

- ・企画名
- ・企画者（プレゼンター）名（グループの場合、グループ名と代表者名）
- ・ワークショップの概要
- ・キーワード（プラネタリウム、美術・アート、映像、望遠鏡、手話など）
- ・ワークショップの目的（どのようなスキルを獲得することを目指すのか、など）
- ・手順（大まかな流れ）
- ・ディスカッションで話し合ってみたいこと
- ・UD 対応・情報保障（視覚／聴覚／発達障害、肢体不自由、などに対応可能か？）
- ・必要な材料と価格（材料はプレゼンターの方でご用意ください）
- ・実施日の希望（9 月 24 日のみ実施／9 月 25 日のみ実施／両日実施）
- ・別室利用の希望の有無
- ・その他・特記事項（電源使用の有無、今後の予定、協力依頼など）

※図や写真を入れる場合はキャプションとして説明文を入れてください。

応募宛て先：ud2016@prcml.mtk.nao.ac.jp

問い合わせ先：嶺重慎（京都大学）shm@kusastro.kyoto-u.ac.jp



---

---

## 催しのご案内

### ◆第9回 宇宙（天文）を学べる大学合同進学説明会

#### <天文学者大集合！ 宇宙・天文を学ぶ大学紹介します>

全国各地の宇宙や天文を学べる大学から、天文学者・宇宙科学者である教員スタッフが大阪市立科学館に出張してきます。そして、大学での研究活動や教育活動について紹介すると共に、ポスターパネルや研究資料の前で解説をしたり、進学相談に乗ったりします。また併せて、天文講演会も予定しています。

大学や研究室とはどういうところなのか、各大学の研究室にはどんな教員がいて具体的にどんな研究活動や教育活動をしているのか、研究室の雰囲気や出身学生の就職先なども含め、宇宙（天文）を学べる大学および研究室での活動を総合的に紹介します。

日時：2016年6月12日（日） 10:30～16:00（受付10時より）

会場：大阪市立科学館 研修室（大阪市北区）

主催：宇宙（天文）を学べる大学合同進学説明会実行委員会、大阪市立科学館

対象：宇宙（天文）を学べる大学への進学に関心がある高校生・教員・保護者をはじめ、一般の方どなたでも大学院進学を考えている大学生の方も是非どうぞ

内容：パネルの前で教員スタッフが説明（ポスターセッション）、各大学の進学資料・研究パンフレット等配布、今回の目玉：「天文学者の仕事道具自慢」予定

参加：事前申し込み不要・参加費無料

プログラム（予定）： 10:00 受付開始、パネル展示、資料配付

10:30 開始

10:30 各大学の紹介（各7分程度）

11:30 ポスターセッション（+昼食）

13:00 各大学の紹介（各7分程度）

14:00 ポスターセッション（+休憩）

15:00 天文講演会（内容未定）

16:00 終了

現在の参加予定大学（アイウエオ順）：

愛媛大学理学部、大阪教育大学教育学部、大阪市立大学理学部、大阪大学理学部、大阪府立大学、関西学院大学理工学部、京都産業大学理学部、近畿大学、工学院大学、甲南大学理工学部、神戸大学理学部、奈良教育大学教育学部、奈良女子大学理学部、兵庫県立大学天文科学センター、山口大学理学部、立命館大学理工学部

問合せ先（大阪教育大学 福江 純）：

e-mail : fukue@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1

大阪教育大学教育学部教員養成課程

TEL 072-978-3387

FAX 072-978-3387